

今月のテーマ 使用目的別から選ぶ、離床センサー

みなさまはどんな方法で離床センサーを選定をされていますか？離床センサーを設置する目的は転倒・転落対策以外にもあります。今回は、その目的別に、離床センサーを選定していただくための一覧をご紹介します。

危険な動きを察知する

手術後、検査後、睡眠薬などによる患者の危険な動きを一時的に察知したい

取付け・取外しが簡単なセンサー

コールマット

マットを踏むと報知



簡単ポイント
マットを床に敷くだけで使えます！

タッチコール

ベッド柵を握ると報知



簡単ポイント
手すりに被せるだけで使えます！

超音波・赤外線コール

起き上がると報知



簡単ポイント
ヘッドボードに取付けるだけで使えます！

転倒の危険度は低いが室内の見守りの為に設置したい

離室時に報知するセンサー

ドアコール

ドアを開けると報知



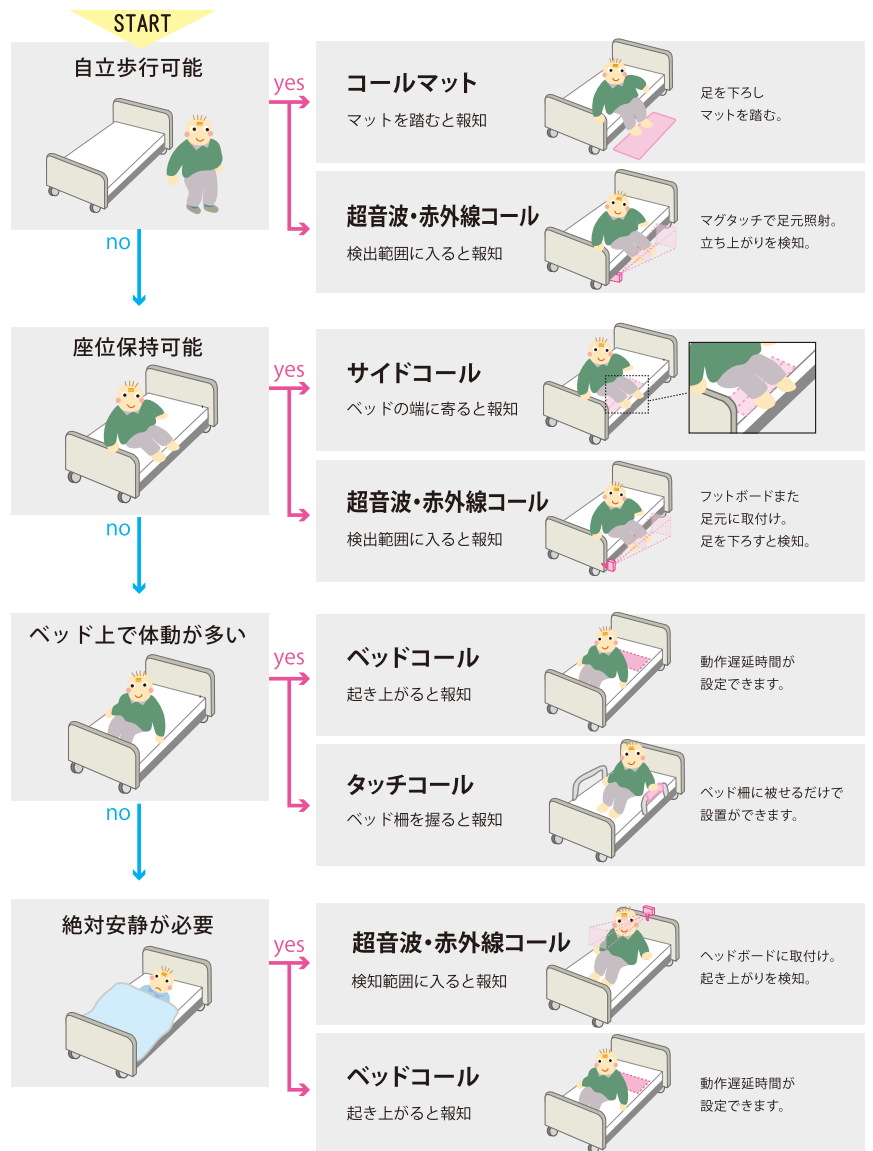
コールマット

マットを踏むと報知



転倒を察知する

離床センサー選定フローチャートで選定します



お知らせ方法は2種類

ナースコールがない場合でも、専用受信器を用いお知らせを受け取ることができます！

ナースコールでお知らせ



ナースステーション
離床センサーをナースコールに連動させます。センサーの作動時に手持ちのPHSでお知らせを受けます。

専用受信器でお知らせ



ナースコールシステムがない場合、または、ナースコールとセンサー作動時のお知らせ音を識別したい場合に！